

真ん中効果についての研究

1 目的

人は何をもとにして物を選ぶを調べるため

2 内容

選ぶ人の気分や好み、商品の外見やデザイン、値段など、さまざまな要因が商品の選択に影響を与えている。

しかし、商品の相対的な位置が、意思決定に影響を与えているのではないかと考え実験を行う。

3 方法

- ① 5つの写真を横に並べて、実験参加者に一番好きな写真を選んでもらった
5つの写真は同じカテゴリーの物や景色を表していて、全て白黒で提示した。
(5種類の犬の写真、5種類の花の写真など)
- ② 次に、5つの写真を縦に並べて同様の検討を行った。
5つの花を横に並べて、実験参加者20人に一番好きな写真を選んでもらった
5つの花は同じカテゴリーの物や景色を表していて提示した。
(5種類の花の写真)

4 結果

- ・実験では真ん中のものが選ばれる確率が最も高かった。
- ・以上の結果から、並べられた事物の相対的な位置は、人間の好きな物の選択に影響を与える事がわかった。
- ・お店などで商品を陳列する際の有効なテクニックになると言える

5 考察

- ・実験では真ん中に提示された写真を選ぶ確率がもっとも高かった。これを「真ん中効果」という。
- ・真ん中効果は好きな物の決定に影響を与えたことになるということが分かった。